
プラズマエレクトロニクス

No. 5

1986年11月

プラズマエレクトロニクス研究会会報

第5回 Informal Meeting 「プラズマエレクトロニクス研究会」

日時 昭和61年9月28日(日) 17:30~18:30

場所 北海道大学工学部 1F C11号室

議題

I 報告事項

(1) 会員数の現状

昭和61年9月現在 166名

(2) 第1回光源物性とその応用研究会

日時 昭和61年7月18日

場所 明治大学(千代田区)

共催団体 応用物理学会プラズマエレクトロニクス研究会

照明学会 (光放射の応用・関連計測研究会
光の発生・関連システム研究会)

プログラム

1	はじめに	名大工	後藤俊夫
2	弱電離プラズマの基礎特性とその計測	武蔵工大	堤井信力
3	最近の光源の動向	東芝	東 忠利
4	光放射の計測	埼玉大	中川靖夫
5	最近のVUV-SX光源の化学への応用	東工大	旗野嘉彦
6	おわりに	埼玉大	中川靖夫

参加者 約70名

(3) 昭和61年秋季応用物理学会プラズマエレクトロニクス分科

場所 北海道大学工学部

(i) 分科内総合講演

日時 昭和61年9月27日(土) 10:00~12:00

題目 各種イオン源とイオン発生機構 京大工 石川順三
アモルファス半導体薄膜作製におけるプラズマ制御
電総研 松田彰久

参加者 延べ250名

(ii) 一般講演関係

日時 昭和61年9月27,28日

講演件数 32件

II 審議事項

(1) 第4回プラズマプロセッシング研究会について

企画委員案について討議した。特に、質疑応答時間、パラレルセッションの可否、会場と宿泊場所が別である点、等について意見が出された。(これらの意見を踏まえ、別紙資料の要領で開催されることになった。)

(2) 昭和62年春季応用物理学会プラズマエレクトロニクス分科シンポジウムについて

別紙資料記載の案に従い準備を進めることとした。総合討論のしかたについて意見を交換した。

(3) 第2回光源物性とその応用研究会について

昭和62年5～7月頃、2日間の予定で開催することとした。

(4) その他

本研究会の将来の財政問題について意見を交換した。

第4回プラズマプロセッシング研究会

日時 昭和62年1月29日(木)～1月31日(土)
場所 慶應大学理工学部会議室(横浜市港北区日吉)
参加受付 参加料(講演論文集代を含む) 一般 3,000円
学生 1,500円

(参加受付は当日会場にて)

内容 「指定テーマ」と「一般研究発表」に分けて講演を進める。前者は与えられたテーマで、現状報告だけでなく、将来の展望、可能性まで述べ、後者は最新の研究成果を発表する。

- 29日 10:00～13:00 プラズマによる新素材の創生(I)
・指定テーマ:反応の選択性
・有機一般講演
- 14:00～19:00 プロセッシングプラズマの計測と新しい発生法
・指定テーマ:プローブ計測の問題点と対策
・一般講演
- 30日 10:00～12:00 総合講演
13:00～19:00 プロセッシングプラズマのモデリングと放電機構
・指定テーマ:プラズマと表面
・一般講演
- 19:00～21:00 懇親会
- 31日 10:00～13:00 分子組成と衝突素過程
・指定テーマ:プロセッシングプラズマ中のラジカルの同定及び電子構造
・一般講演
- 14:00～19:00 プラズマによる新素材の創生(II)
・指定テーマ:カーボン系物質
・一般講演

問い合わせ先 〒223 横浜市港北区日吉町3-14-1
慶應義塾大学理工学部電気工学科
真壁利明

昭和62年春季応用物理学会
プラズマエレクトロニクス分科会
シンポジウム(案)

題目 プラズマプロセスと光プロセスの現状と問題点

内容 プラズマプロセスと光プロセスの比較に重点をおいて、両プロセスを、原理、装置、現状などの立場から発表し、その問題点の解決法について議論する。

プログラム

- | | | |
|---------------------------|----------|------|
| 1 序論 | 東北大 | 西沢潤一 |
| 2 光化学の立場から | 東工大 | 田中郁三 |
| 3 プラズマの立場から | 京大工 | 板谷良平 |
| 4 アモルファスシリコンを例とした両プロセスの比較 | 富士電気 | 市川幸美 |
| 5 SiN を例とした両プロセスの比較 | 日立中研 | 新谷 昭 |
| 6 総合討論 | 司会 豊橋技科大 | 英 貢 |

世話人 豊橋技術科学大学第3工学系
英 貢
三重大学工学部資源化学科
川崎昌博

勤務先等に変更のある方は下の欄にご記入のうえ下記事務局宛お送り下さい。

変更カード

(フリガナ) 氏名	
勤務先 (部局まで記入)	
勤務先 所在地	
主な研究分野	

----- 切取線 -----

プラズマエレクトロニクス研究会事務局
〒464 名古屋市千種区不老町
名古屋大学工学部電子工学科
後藤研究室内